

# 飲水思源

町長 松岡市郎

## 新たに問われる高額寄付金の使いみち

ある日、一人の住民の訪問を受けた。「私が以前勤めていた会社の社長が町に寄付したいと言っているので、手続きを知りたい」という問い合わせがあった。その金額を聞いて驚いた。何と2千万円だというのである。申し出があつて1週間ほど経った。「町長、入金になっています」という。ありがとうございます。

東京を中心とした都市圏の開発、ビル建設に伴う土の再利用を行っている株式会社ホクリク（東京、野口研二社長）という会社である。上京の折、高橋昭典議長とともに野口社長と面談してお礼を申し上げる機会を得た。会社は昨年創立50周年を迎え、年商は安定して50〜60億円、従業員1000名程度、納税はおおむね5億円だという。

社長の野口氏は早稲田大学法学部を卒業し弁護士を目指していたが、わけあって父親の経営を引き継いだそうだ。最初の10年間は税金を支払うどころか、自分の給料も出ないような厳しい経営で、担当税理士によると「朝刊を読んだから帰宅するほど人一倍働き、経営改革を行い、税金を納付できるまでに経営が安定したのは、ここ20年」だと

いう話である。毎年、多額の税金を適正納付しているにもかかわらず、「その使途がはっきりとしない」などと納税に対する不信感を話しておられた。こんなこともあつて地方で頑張っているところを応援したいという気持ちになったのだという。

この会社が基本的に大切にしているものは「水、土、緑」だそうである。数年前に東川町を訪れ、大雪山旭岳の麓で「水」を大切に、そしてその水を安全に供給している町の姿に感動し、以前勤めていた従業員が住民として暮らしているという縁もあつて、当町に寄付の申し出があつたのである。

7月中旬、野口社長ご夫妻が、住民となつた前社員に案内されて来庁してくれた。曰く「毎年5千万円を、5年間に渡ってふるさと納税法人版で寄付したい」との申し出があつた。日本語を学びたいという外国人留学生の積極的な受け入れや教育制度などに強い関心を寄せられた。私たちは今、このありがたい浄財をどのように役立てることができるか、新たな知恵を出さなければならぬ。

## オークブリッジ邸の笑わない貴婦人2 (一般書)

太田 紫織 / 著 新潮社 / 刊



19世紀の英国式お屋敷で24時間メイドをしている鈴佳。生活にも慣れたこのごろ、真夏の悪夢に襲われていた。さぼり上手な後輩メイドとわがままなお嬢さま。その上鈴佳の“罪”を知る昔のご主人さままで現れて…。川遊び、乗馬、純情な愛の逃避行。階上で過ごすご主人さまの夢を叶えるため、お屋敷の歯車たちは、今日も階下を駆け回る。東川町を参考に、お屋敷がある架空の町を設定した人気小説の第2弾。

## ベイマックス (映画、DVD)

ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン / 発売元



謎の事故で最愛の兄・タダシを失った天才少年、ヒロ。深く傷ついた彼の心を救ったのは、兄が開発したケア・ロボットのベイマックスだった。兄の死の真相をつかもうとする二人だったが、彼らの前に未知なる強大な敵が立ちはだかる。ケア・ロボットとして人を傷つけることを禁じられているベイマックスに、ヒロを守りきることができるのだろうか？(102分)

## 貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館  
☎82-4245



★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★  
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索 <http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

## 旅のお供はしゃれこうべ (児童書)

泉田 もと / 著 岩崎書店 / 刊



大きな商店の気の弱い跡取り息子、惣一郎。父親に頼まれ出かけた旅先で、奉公人に大切な焼き物を持ち逃げされてしまった。「このままでは帰れない」と山をふらふらしていると、足を滑らせ谷に落ちてしまう。気が付いたとき話しかけてきたのは、なんと、そこにいたしゃれこうべ。一緒に焼き物を取りもどそうと、江戸でお金を稼ぐために路上パフォーマンスをすることに…。